

「課題の整理表」記入についての工夫

- 初めてこのような課題に取り組む方が受講されることも考えられるので、作成にあたっては以下の要領を参考にしながら、要点を充分整理した纏めになるよう努めてください。

【課題整理表作成の視点】

- あなたは、【A児童発達支援事業所】(以下「A事業所」)の児童発達支援管理責任者です。
- A事業所の定員は10名、午前中の支援を主としています。午後は保育園・幼稚園との並行通園の子どもが毎日2～3人利用しています。
- 今回のケースでは、治郎くんの母親が幼稚園との並行通園をしながら療育を受けたいと考え、A事業所に問い合わせをしてきたところから始まります。
- そこで、あなたはA事業所の利用に向けた「個別支援計画」を作成するために、相談支援事業所からの情報や母親との面談で得た情報をもとに、治郎くんやご家族に関する「課題の整理」を行います。
- まずは、今回提供される事例のアセスメント資料をよく読み込み、この事例における課題を以下の①～⑤の流れから整理し、「課題の整理表」を作成してください。
- この事前課題を基に、研修当日はグループで実際に「個別支援計画」の作成演習を行います。

① 子どもや家族の訴え(将来への目標や希望)

- ☞ ここでは本人や家族が希望する支援について整理する。

② 今現在の状態(問題点、課題、困っていること)

- ☞ ここでは①で現れた訴えについて、本人や家族等が置かれている現状を支援者として客観的に整理する。

③ 目標(ニーズ)に繋がる本人の力(その人がもつ可能性や強み)

- ☞ ここでは、上記①②で現れた希望や課題について、解決するうえで有効と思われる本人や家族の“可能性”を注意深く読み取り、整理をしていく。提供情報から推測できることについて纏めてみるのも良い。

④ 課題の整理(目標達成に向けた支援者の工夫)

- ☞ ここでは、上記①～③で整理した内容に基づき、具体的な療育や支援を提供する際に必要となる、支援のポイントについて具体的かつ簡潔に整理する。

⑤ 課題のまとめ

- ☞ ここでは、①～④で纏められた様々なニーズのなかから、当面の支援目標を本人や家族と共有するために、支援計画の重点課題を100文字以内で簡潔に纏める。

- 課題の整理にあたっては、以下のA)～C)の3つの視点にも留意をして整理する。

A)発達支援

- ☞ 将来の暮らしに向けた子どもの成長という視点から、ニーズや課題を読み取る。

B)家族支援

- ☞ 家族機能や子育て力を支える視点から、家族のニーズや課題を読み取る。

C)地域支援

- ☞ 地域にある関係機関、或いは家族が暮らす地域そのものとの繋がり方という視点から、ニーズや課題を読み取る。